

令和7年度事業報告（概要）

本会は「ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の実現」を理念とする強化発展計画に基づき、行政、市町村社協、民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者等との連携・協働を図りながら各種事業を実施しています。

<令和7年度の取組概要>

- (1) 第72回富山県社会福祉大会や社会福祉施設・団体正副会長会議の開催、市町村社協や民生委員児童委員協議会との連携・協働、各種福祉団体への支援を行うなど、地域共生社会の実現に向け福祉関係団体とのネットワークの構築を進めました。
- (2) 市町村社協等との協働による要支援者に対する地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット21）の展開や各種相談への対応、日常生活自立支援・就労支援等により住民主体の地域福祉を推進するとともに、コミュニティソーシャルワーク研修等を通じた個別課題、地域における生活課題への対応力強化、緊急小口資金等の特例貸付の債権管理と借受人に対するフォローアップに取り組みました。
- (3) 災害支援に求められる情報発信力向上のための研修や災害ボランティアセンター業務に関する運営支援アプリを導入するとともに、県内4か所に設置した災害ボランティア活動用資機材のストックヤードの充実やそのネットワークの構築、災害派遣福祉チーム（富山DWAT）の登録者養成など、災害対応力の向上と平時からの福祉支援体制強化に努めました。
- (4) 福祉のお仕事フェアの開催や福祉・介護職員合同入職式の実施、介護福祉士及び保育士修学資金の貸与、介護職場の魅力を発信する動画の制作・配信、中学・高校への出前講座、SNS（LINE）を活用した求人・求職情報提供を行うとともに、福祉人材確保対策・介護現場革新会議における各種課題への対応、福祉カレッジにおける研修等により、福祉人材の確保・定着・育成に向けた取組みを推進しました。
- (5) とやま介護テクノロジー普及・推進センターにおいて、介護ロボットの展示や貸出、導入支援、伴走支援を行うとともに、介護ロボットの導入やICT活用に関する研修、セミナーの実施などにより、介護現場の生産性向上等に取組みました。

推進項目1 地域ニーズへの対応力向上と包括的な相談支援体制づくり

【主な取組】

- (1) 社会福祉施設・団体正副会長連絡会議の開催（R7.10.2開催、16団体19名参加）
- (2) 市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催（R8.2.26開催、34名出席）
- (3) 一斉改選（令和7年12月）への対応や各種研修会の実施等による富山県民生委員児童委員協議会の活動支援
- (4) 地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット21）を15市町村 259地区で実施、市町村社協へコーディネーター業務費用等を助成、ケアネットチーム員・リーダー研修、コーディネーター研修を実施
- (5) 生活福祉資金（決定実績231件、36,415,441円）や能登半島地震による緊急小口資金等の貸付、市町村社協との連携による緊急小口資金等（コロナ特例）の債権管理と借受人へのフォローアップ支援、滞納世帯に対する生活状況に応じた償還指導と不良債権の整理（免除債権22件）
- (6) 県東部の8市町村を対象に生活困窮者の生活と就労に関する相談に応じ、自立に向けた支援を行う東部生活自立支援センター運営事業を実施（新規相談61件、支援プラン策定22件、就労支援対象者17件）
- (7) 日常生活自立支援事業を全市町村で実施（相談件数16,741件、新規契約締結件数59件、実利用件数421件）、生活支援員研修の開催（R7.7.15開催、45名参加）、専門員研修の開催（R7.11.13開催、22名参加）
- (8) 地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修の開催（R7.10.30～31、12.11～12開催、19名修了）
- (9) 市町村社協が事務局を担う社会福祉法人連絡会や、施設経営法人等と連携して実施される事業の運営委員会に職員を派遣し、課題の把握や助言を実施

推進項目2 誰もが役割を持ち支え合う共生のまちづくり

【主な取組】

- (1) ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援として、市町村ボランティアセンター活動事業への支援、市町村ボランティア活動コーディネーターの養成、ボランティア活動コーディネーター設置事業、大学生のNPO活動への参加促進のためのNPOチャレンジプロジェクト等を実施
- (2) 福祉教育を効果的かつ継続的に推進するために富山県福祉教育推進員ネットワーク会議を開催（R7.11.21、全国福祉教育推進員研修修了者 9名参加）
- (3) 「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」に県代表選手を派遣（第37回全国健康福祉祭ぎふ大会 R7.10.18～21開催、24種目、選手168名派遣）
- (4) いきいき長寿大学の開催（R7.6月～12月 富山会場6回、高岡会場6回、215名参加）
- (5) いきいき友の会事業の運営（個人会員・法人会員サービス提供事業、会員組織の強化）

- (6) 県総合防災訓練にあわせて砺波市社協と合同で災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を実施(R7.9.28実施、県・市町村協ボランティアコーディネーター、地域住民等 68名参加)
- (7) 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修の開催(R7.8.28~29開催、15名参加)、災害支援に求められる情報発信力向上研修の開催(R7.10.2開催、17名参加)、災害救援ボランティアシンポジウムの開催(R8.3.19開催、50名参加)
- (8) 災害派遣福祉チーム員(富山DWAT)研修の開催(登録研修R7.8.27 参加者22名(R7末 登録者180名)、フォローアップ研修R7.12.18 参加者40名)、災害派遣福祉チーム員派遣用物資等の整備
- (9) 県内4か所(富山市、高岡市、魚津市、砺波市)に災害ボランティア活動用の資機材を保管するストックヤードを整備し、資機材の供給や活用について協議を行うネットワーク会議を開催
- (10) 災害ボランティアセンター業務の円滑化を図るため、災害ボランティアセンター運営支援アプリを導入(11市町村)、活用方法等について学ぶオンライン研修を定期的に開催

推進項目3 福祉人材の確保・育成・定着と福祉サービス事業者への支援

〔主な取組〕

- (1) 福祉人材無料職業紹介事業の充実(相談件数3,522件、紹介者数107人、採用者数134人 ※他機関採用を含む)
- (2) 福祉人材センター公式SNS(LINE)の開設や県公式SNS(LINE・X)との連携による就職情報等の提供
- (3) 福祉職場説明会の開催(R7.7月~11月 5回)、介護職員募集案内冊子の作成・配布
- (4) 富山県福祉・介護職入職者合同入職式(R7.4.24開催、79名出席)
- (5) 保育士・保育所支援センターの運営(相談件数1,433件、紹介者数51人、採用者数59人 ※他機関採用を含む)
- (6) 中学・高校生への出前講座(R7.6~R8.2月 延べ1,177名参加)
- (7) がんばる介護職員応援事業(介護の中堅職員ががんばりすと2025として22名表彰)の実施
- (8) 福祉・介護のイメージアップ動画を制作・SNSで配信(R7.9月~R8.2月 動画広告配信5,511,651回)
- (9) 介護助手等マッチング支援事業の実施(相談件数851件、紹介者数26人、採用者数29人 ※他機関採用を含む)
- (10) 福祉人材確保対策・介護現場革新会議の開催(会議2回、ワーキンググループ4回)
- (11) 介護福祉士修学資金等貸付事業(79件貸付)、保育支援資金貸付事業(32件貸付)、児童養護施設退所者等貸付事業(7件貸付)の実施
- (12) 福祉カレッジ研修事業(38研修、延べ137日、4,018名受講)の実施による専門性を持った福祉人材の育成とキャリア形成支援
- (13) 介護支援専門員実務研修受講試験の実施(R7.10.12実施、受験者数468名)
- (14) 介護テクノロジーの普及・啓発を図るため、「とやま介護テクノロジー展示会」を富山駅南北自由通路で開催(R7.6.7開催、延べ1,100名参加)
- (15) 介護ロボット等の導入やICTの活用支援として、介護ロボット等導入シリーズ研修(R7.7月~R8.2月開催、延べ68名参加)、ICT等活用支援研修(R7.8.22開催、9名参加)、介護生産性向上取組支援セミナーの開催(R7.7.31開催、136名参加)、県が実施する介護テクノロジー定着支援事業補助金の申請支援
- (16) 社会福祉施設経営相談の実施(34件)
- (17) 社会福祉法人労務管理研修、経理事務研修、法律問題研修の開催(各1回、計135名参加)
- (18) 富山県福祉施設支援資金の貸付(貸付実績21件、89,195千円)
- (19) 福祉サービス運営適正化委員会の開催、福祉サービス苦情解決研修会の開催(R7.11.14開催、105名参加)
- (20) 福祉サービス第三者評価事業の実施(認知症対応型共同生活介護事業所21件、児童福祉施設5件、障害福祉施設4件、社会的養護関係施設1件)
- (21) 指定情報公表センターの運営(公表事業所1,821件)

推進項目4 地域福祉推進のための組織基盤の強化

〔主な取組〕

- (1) 現行の強化発展計画(R4~R8)の中間評価結果やその後の課題等を令和8年度に策定する次期計画(第6次活動推進計画R9~R13)へ反映させるため、計画の進捗状況等を踏まえた自己評価を実施
- (2) 業務改革・改善推進委員会を設置・開催し、業務のICT・デジタル化や事務事業の見直しを実施、防災対策委員会を設置・開催し、災害対応力を強化するための取組について協議、BCP見直しに向けたアンケートを実施
- (3) 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)の指定管理業務の対応として、令和7年10月からエレベーターが稼働再開、同年12月2日から5・6階フロア(研修室)の供用を再開
- (4) 正副会長会議(2回)、理事会(8回)、評議員会(2回)の開催
- (5) 第72回富山県社会福祉大会を開催し、地域福祉活動や募金活動の推進に尽力された個人及び団体を表彰するとともに、議事及び記念講演を行った(R7.10.22開催、表彰状授与・感謝状贈呈153名、29団体)

●令和7年度 富山県社会福祉協議会 収支決算総括表

〈一般会計〉

(単位:円)

会計区分		収入	支出	差引
1	法人運営事業拠点区分	234,139,824	121,343,509	112,796,315
2	地域福祉活動推進事業拠点区分	241,574,515	223,526,246	18,048,269
3	施設・団体活動振興事業拠点区分	86,559,883	86,559,883	0
4	相談事業拠点区分	51,043,998	51,043,998	0
社会福祉事業区分 合計		613,318,220	482,473,636	130,844,584
1	福祉人材育成・研修事業拠点区分	104,258,200	104,258,200	0
2	長寿社会推進事業拠点区分	46,192,076	46,192,076	0
3	貸付事業拠点区分	1,038,892,629	726,236,168	312,656,461
公益事業区分 合計		1,189,342,905	876,686,444	312,656,461
1	富山県総合福祉会館管理事業拠点区分	105,024,124	109,542,857	-4,518,733
収益事業区分 合計		105,024,124	109,542,857	-4,518,733
一般会計 合計		1,907,685,249	1,468,702,937	438,982,312

〈生活福祉資金会計〉

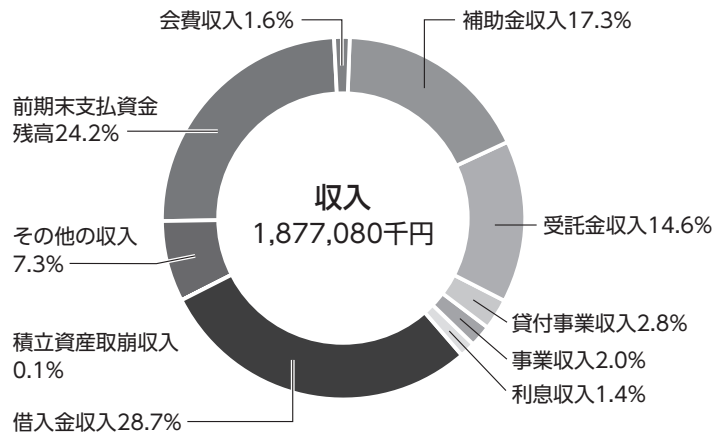
1	生活福祉資金会計	1,408,080,008	221,095,682	1,186,984,326
2	生活福祉資金貸付事務費会計	217,992,067	217,992,067	0
3	要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	39,692,713	822,552	38,870,161
4	臨時特例つなぎ資金会計	17,300,688	3,284,729	14,015,959
総合計		3,590,750,725	1,911,897,967	1,678,852,758

●令和7年度 一般会計資金収支計算書の概要

〈収入の部〉

科目名	決算額
会費収入	29,095,150
補助金収入	324,008,001
受託金収入	274,755,528
貸付事業収入	52,008,000
事業収入	37,827,572
利息収入	26,902,232
借入金収入	539,195,000
積立資産取崩収入	1,886,263
その他の収入	137,308,820
前期末支払資金残高	454,094,184
収入計	1,877,080,750

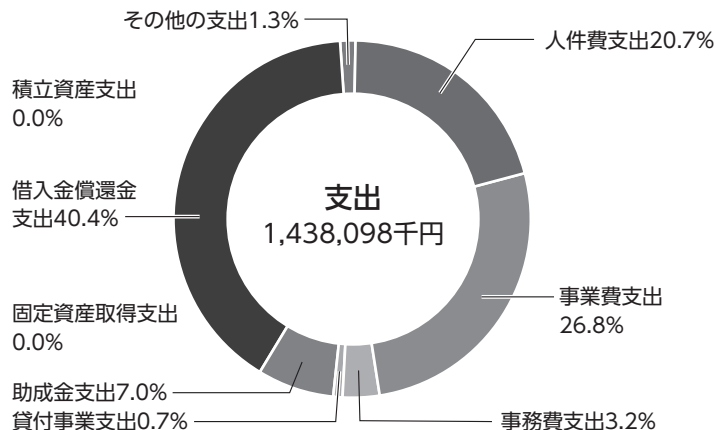
(内部取引消去後)



〈支出の部〉

科目名	決算額
人件費支出	297,236,793
事業費支出	384,835,899
事務費支出	45,573,022
貸付事業支出	10,000,000
助成金支出	100,392,715
固定資産取得支出	139,700
借入金償還金支出	581,203,000
積立資産支出	579,268
その他の支出	18,138,041
支出計	1,438,098,438

(内部取引消去後)



令和8年度 富山県社会福祉協議会 事業計画

推進 項目1

地域ニーズへの対応力向上と 包括的な相談支援体制づくり

- (1) 地域生活課題の把握と新たな活動やサービスの開発
 - ・社会福祉施設・団体正副会長連絡会議、市町村社協事務局長会議の開催
 - ・民生委員児童委員協議会の活動支援
- (2) 包括的支援体制の構築に向けた市町村社協の活動強化支援
 - ・地域総合福祉推進事業(ふれあいコミュニティ・ケアネット21)の実施、各種研修会の実施
 - ・生活福祉資金貸付事業の実施
 - ・東部生活自立支援センター運営事業、生活困窮者自立支援事業従事者養成研修の実施
- (3) 意思決定支援のための体制づくり
 - ・日常生活自立支援事業等をツールとした自己決定支援、生活支援員・専門員等の研修の実施
- (4) 個別支援を通じた地域づくりを推進する専門職の育成
 - ・コミュニティソーシャルワークの視点や考え方を理解し、その展開プロセスや手法を学ぶための地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修を開催
- (5) 社会福祉法人等との連携・協働の推進
 - ・社会福祉法人の連携・協働と地域における公益的な取組の実施を支援
 - ・市町村社協と施設経営法人等との連携による地域生活課題の共有、課題解決に向けた取組み支援を実施

推進 項目2

誰もが役割を持ち支え合う 共生のまちづくり

- (1) 多様な主体の参加とつながりづくりの促進
 - ・ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援として、市町村ボランティアセンター活動事業への支援、コーディネート力向上研修等の開催
 - ・NPOチャレンジプロジェクトとして、大学生を対象としたNPO法人での活動体験を実施
 - ・福祉教育推進員のフォローアップや福祉教育セミナーの企画等を行うネットワーク会議の開催
 - ・「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」埼玉大会への選手派遣
 - ・いきいき長寿大学の開催
 - ・いきいき友の会事業の運営
- (2) 災害に備えた地域づくりと福祉支援体制の強化
 - ・県総合防災訓練にあわせた災害救援ボランティアセンター立ち上げ及び情報伝達訓練の実施
 - ・災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会の開催
 - ・市町村社協、県・市町村職員等を対象に、地域協働型災害ボランティアセンターの運営と全体のマネジメントを行うための研修を開催
 - ・県内4圏域に設置した災害ボランティア活動用資機材ストックヤードを充実させるため、資機材の追加整備を行うとともに、その利活用にかかる関係機関・団体とのネットワーク会議を開催
 - ・災害ボランティアセンター業務の円滑化を図り、迅速かつ効果的な救援活動を行うための災害ボランティアセンター運営支援アプリの運用及び研修を実施
 - ・富山県災害派遣福祉チーム(富山DWAT)登録者の養成、研修等を実施

推進 項目3

福祉人材の確保・育成・定着と 福祉サービス事業者への支援

- (1) 福祉職場の魅力発信と福祉人材の確保
 - ・福祉人材無料職業紹介事業、福祉職場説明会、福祉・介護職員合同入職式の開催
 - ・保育士・保育所支援センターを設置・運営
 - ・求人事業所との関係強化を目的とした事業所訪問、採用者へのフォローアップ支援
 - ・中学・高校生への介護の出前講座の実施
 - ・がんばる介護職員の表彰、イメージアップ動画のSNS広告配信
 - ・高齢者施設等で身体的介助を伴わない業務を担う「介護助手」の導入・マッチングを支援
 - ・介護福祉士修学資金等貸付事業、保育支援修学資金事業、児童養護施設退所者等貸付事業の実施
- (2) 専門性を持った福祉人材の育成とキャリア形成支援
 - ・福祉カレッジ研修事業の実施(ソーシャルワーク研修、ケアワーク研修、経営支援研修、階層別研修、目的課題別研修)
 - ・介護支援専門員実務研修受講試験事業の実施
- (3) ICT及び介護ロボットを含む福祉・介護機器の導入・活用支援
 - ・相談、体験展示、貸出、介護ロボット等の導入・活用に向けた伴走支援、情報提供を実施
 - ・介護ロボット導入シリーズ研修、ICT活用支援研修、介護生産性向上取組支援セミナー、介護生産性向上先進事例視察研修会の実施
 - ・介護ロボット等体験講座、介護テクノロジー相談員養成研修等の実施
 - ・介護ロボット・ICTの導入補助金申請の支援
- (4) 福祉サービス事業者への支援とサービスの質の向上
 - ・社会福祉経営相談室の利用促進
 - ・富山県社会福祉法人経営者協議会との連携による会計、労務管理、法律等の研修の実施
 - ・福祉施設支援資金の貸付
 - ・福祉サービス運営適正化委員会の運営
 - ・福祉サービス第三者評価事業の実施
 - ・指定情報公表センターの運営・管理

推進 項目4

地域福祉推進のための 組織基盤の強化

- (1) 組織体制の強化
 - ・職員の資質向上にむけた研修の実施
 - ・県社協強化発展計画(第6次活動推進計画 令和9～13年度)の策定
 - ・防災対策委員会の開催、災害時初動対応計画・事業継続計画(BCP)の見直し
 - ・業務改革・改善推進委員会の開催、業務のDX・ICT化や事務事業見直しによる業務改善の推進
- (2) 経営・財政基盤の強化
 - ・適正な業務執行体制の確立
 - ・基金運営委員会の開催
 - ・会員のニーズや意見を反映した自主研修事業の実施
- (3) 情報収集と発信機能の強化
 - ・第73回富山県社会福祉大会の開催
 - ・新しい広報媒体の導入に向けた検討